

報道資料

平成30年度「未来へつなぐ文化活動ステップアップ補助金」 採択事業決定

「未来へつなぐ文化活動ステップアップ補助金」は、文化芸術団体等が、自らの創意工夫に基づいて企画・運営を行う優れた事業を支援することで、平成29年度に奈良県で開催された「国文祭・障文祭なら2017」のレガシーを継承し、文化を奈良のブランドとして全国に力強く発信するとともに、奈良の文化力のより一層の向上を図ることを目指すものです。6月16日(土)に申請団体によるプレゼンテーションを開催し、審査の結果、採択事業が決定しました。

(1)採択事業

11事業の採択が決定しました。採択事業については別紙1をご覧ください。

(2)制度の概要

◆対象団体

文化芸術団体、県内市町村等(県内に所在地又は活動の拠点を有することなど要件あり)

◆対象事業の要件

○県内の文化芸術の振興に寄与する事業で、次の要素を複数満たすもの

文化を通じた世代間や地域間等の交流/次世代の育成/継続性が期待できる事業展開/多数の県民の積極的な参加/活動のレベルアップ

○奈良県大芸術祭・奈良県障害者大芸術祭開催期間中に主要なイベント等が実施される事業であること など

上記の要件を満たし、さらに、以下に該当する場合は重点枠(国文祭・障文祭レガシー継承枠)の対象とします。

○平成29年度に奈良県で開催された「第32回国民文化祭・なら2017」「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」の大会テーマのひとつである「障害のある人とない人の絆を強く」の趣旨に沿い、展開する事業

◆補助金の額

・一般枠 (助成対象経費－入場料等収入)×1/2以内(上限50万円)

・重点枠 (助成対象経費－入場料等収入)×2/3以内(上限100万円)

ただし、同一団体が複数年度助成を受ける場合、次年度以降補助金上限額が逡減します。